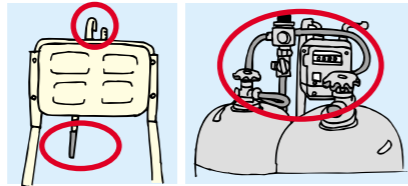


第八景 下ろした雪を片付ける

片づけが必要な場所

- 入り口・間口・非常口
- エアコン室外機
- お風呂の煙突、給排気口
- 灯油タンクの周囲
- プロパンガスの周囲 など



赤丸の箇所は除雪作業中、特に注意が必要な箇所です。

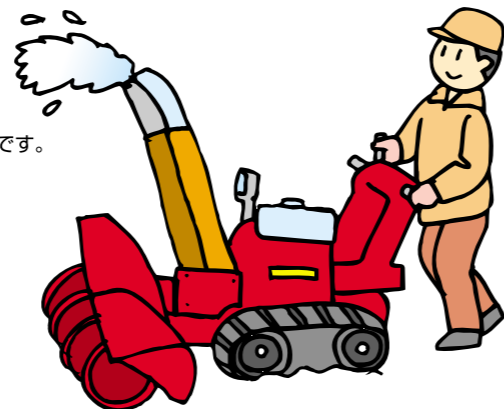
水路への排雪

- 雪を処理するのに、水はとても有効です。
 - 水路は、雪を流してくれます。
- 流雪溝や水路や池への転落に要注意
 - ふたを開いているときは、その場を離れない。
 - 作業中も目印をつけて、注意しましょう。
- 溢水災害には気をつけて
 - 流雪溝や水路がつかまらないように、少しずつ投雪しましょう。
 - 屋根から直接投雪しないようにしましょう。

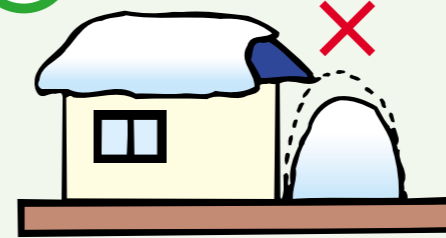


除雪機械による排雪

- 小型ロータリ除雪車
 - これがあると、「持ち上げて投げる」という重労働をしなくて良いので、とても作業がはかどります。
 - しかし、高速で回転するロータリ羽(オーガ)がむき出しになっているため、指を切断したりする事故が後をたちません。
- 事故を防ぐには
 - 周りには近づかない、近くに人がいるときはエンジンを切る、が鉄則です。
 - 詰まりを取るとき、離れる時も絶対にエンジンを止めること。
 - そばに水路や斜面があるときは、細心の注意を。
- そのまま水路に飛ばすと・・・
 - ロータリ除雪車の排雪能力はとても大きいので、小さな水路にそのまま投入すると、水路が詰まって洪水を引き起こすことがあります。十分に注意してください。



ポイント 屋根と雪山が繋がったままにしておく...

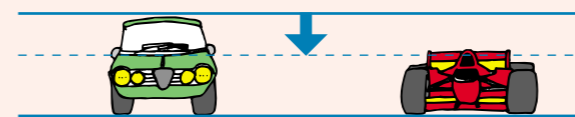


軒先の雪に気をつけて

屋根から雪を下ろした後、雪の山と軒先の間を切り離しましょう。軒先と雪山がつながっていると、沈降力が作用して、屋根が破損することがあります。このことは、室内の採光にもなります。

コラム 「沈降力とは」

沈降力は、積雪が圧密によって、徐々に積雪深が減っていく時、下方向にかかる強い力のことです。過去の実験結果では、幅10cm・長さ1mの桁に1.5tもの力が作用した例もあります。



雪の中に放置された車が、春になったらベチャンコになっていたことも…。まさに乗用車がレーシングカーのようになっていました。



キケン!

事故1

レバー操作を誤り、家と機械にはさまれ怪我をした。

- 除雪機械の操作は確実に!操作の際は、周囲に人がいないか確認しましょう。
- 後進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には充分注意。

事故2

シュート部に雪が詰まり、取ろうと手を入れたところブローアが突然回転し、指を切断した。

- シュート部に詰まった雪を取り除く場合は、必ずエンジンを停止させてから。
- 屋根から下ろした雪は硬くつまりやすいので、事前に小さく砕いておくこと。

事故3

雪で隠れた水路に気づかず、除雪機ごと転落した。

- 除雪作業を始める前に、周囲の危険箇所を必ず確認しておくこと。
- 水路等の危険箇所には、事前に目印をつけておくこと。